

長岡京市第3次総合計画 第3期基本計画策定作業

【市民アンケート調査報告書】

—単純集計—

平成21年9月

長 岡 京 市

<目 次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 長岡京市の住み心地について	5
3. 政策の重要度、満足度について	8
4. 個別の政策について	20

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本市民アンケートは、長岡京市の居住環境や行政サービス等に対する市民の評価を把握することにより、第3次総合計画の基本計画部分の見直しに当たっての基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 実施概要

(1) 調査対象

市内に在住する18歳以上の市民3,000人を住民基本台帳及び外国人登録名簿から無作為に抽出。

(2) 調査方法

抽出された調査対象者に対し、郵送により調査票の発送・回収を行った。また、調査期間中に、調査対象者全員に協力依頼はがきを送付した。

(3) 調査期間

平成21年8月6日～8月31日

(4) 回収結果

有効回収率は、50.4%であった。

発 送 数 : 3,000 通

有効回収数 : 1,511 通

有効回収率 : 50.4%

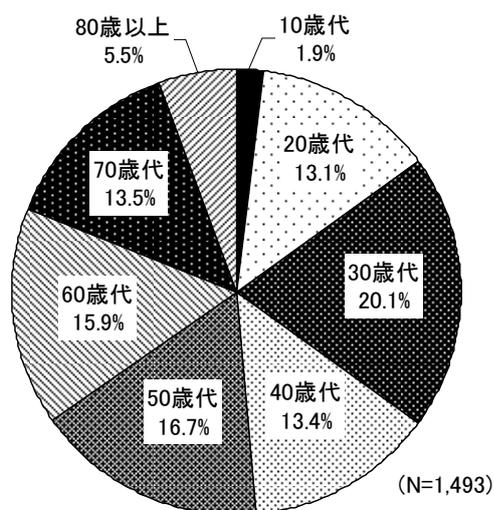
II. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 年齢

- ・ 年齢別にみると、最も回答割合が高いのは「30歳代」(20.1%)であり、次に「50歳代」(16.7%)が続いている。

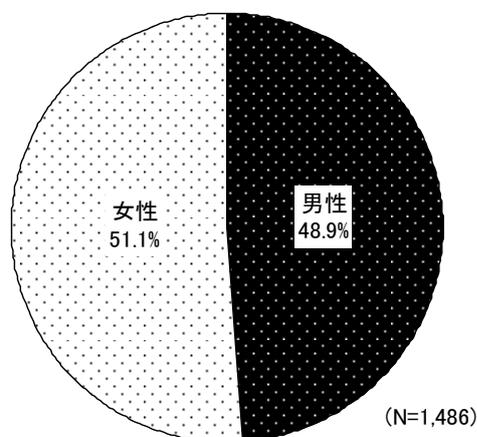
図表 II-1 年齢



(2) 性別

- ・ 男性の回答者が48.9%、女性の回答者が51.1%となっている。

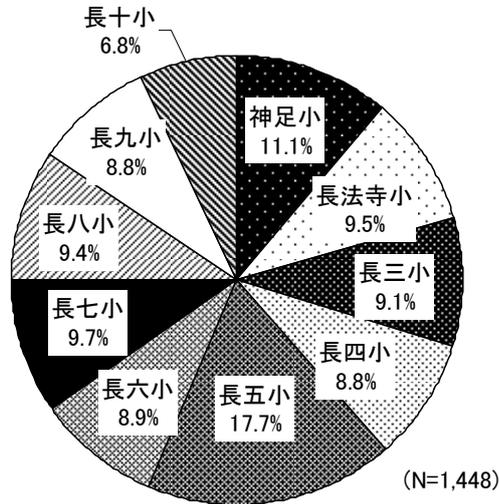
図表 II-2 性別



(3) 居住地（小学校区）

- ・ 長岡第五小学校区に住む回答者が 17.7%と最も多く、その他は各小学校区にほぼ均等に分散している。

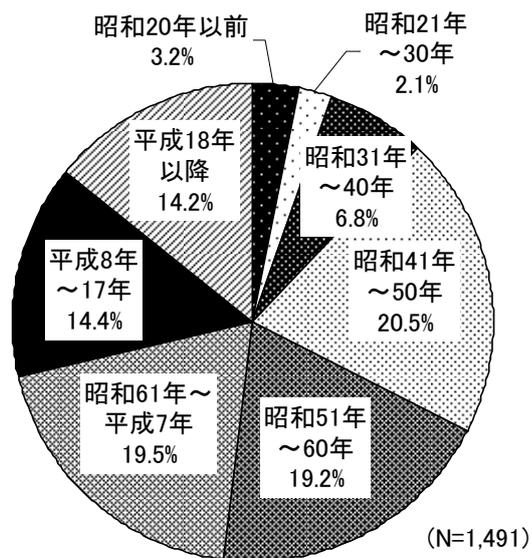
図表 II-3 居住地(小学校区)



(4) 居住開始時期

- ・ 居住開始時期については、「昭和 41 年～50 年」が 20.5%と最も多く、「昭和 61 年～平成 7 年」(19.5%) が続いている。

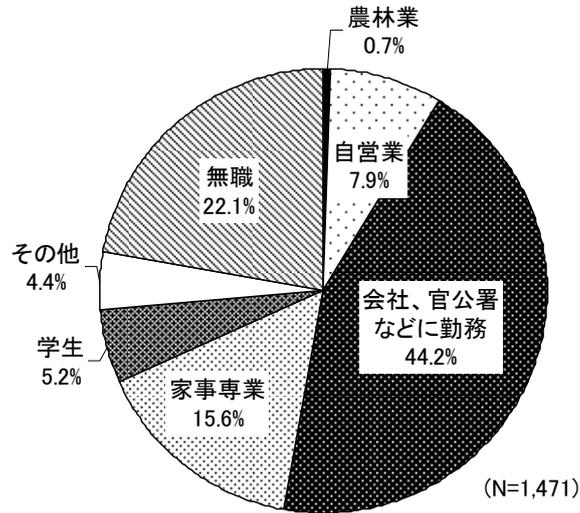
図表 II-4 居住開始時期



(5) 職業

- ・ 職業別にみると、「会社・官公署などに勤務」(44.2%)が最も多く、「無職」(22.1%)、「家事専業」(15.6%)が続いている。

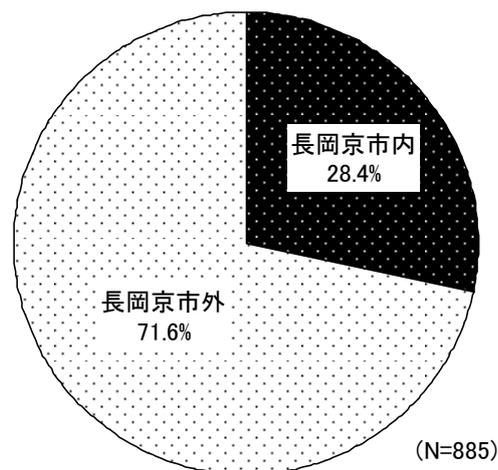
図表 II-5 職業



(6) 通勤・通学先

- ・ 通勤・通学先については、長岡京市内が28.4%であった。

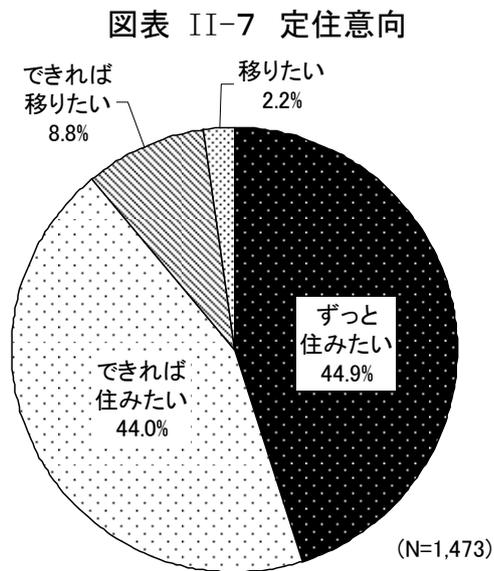
図表 II-6 通勤・通学先



2.長岡京市の住み心地について

(1) 定住意向

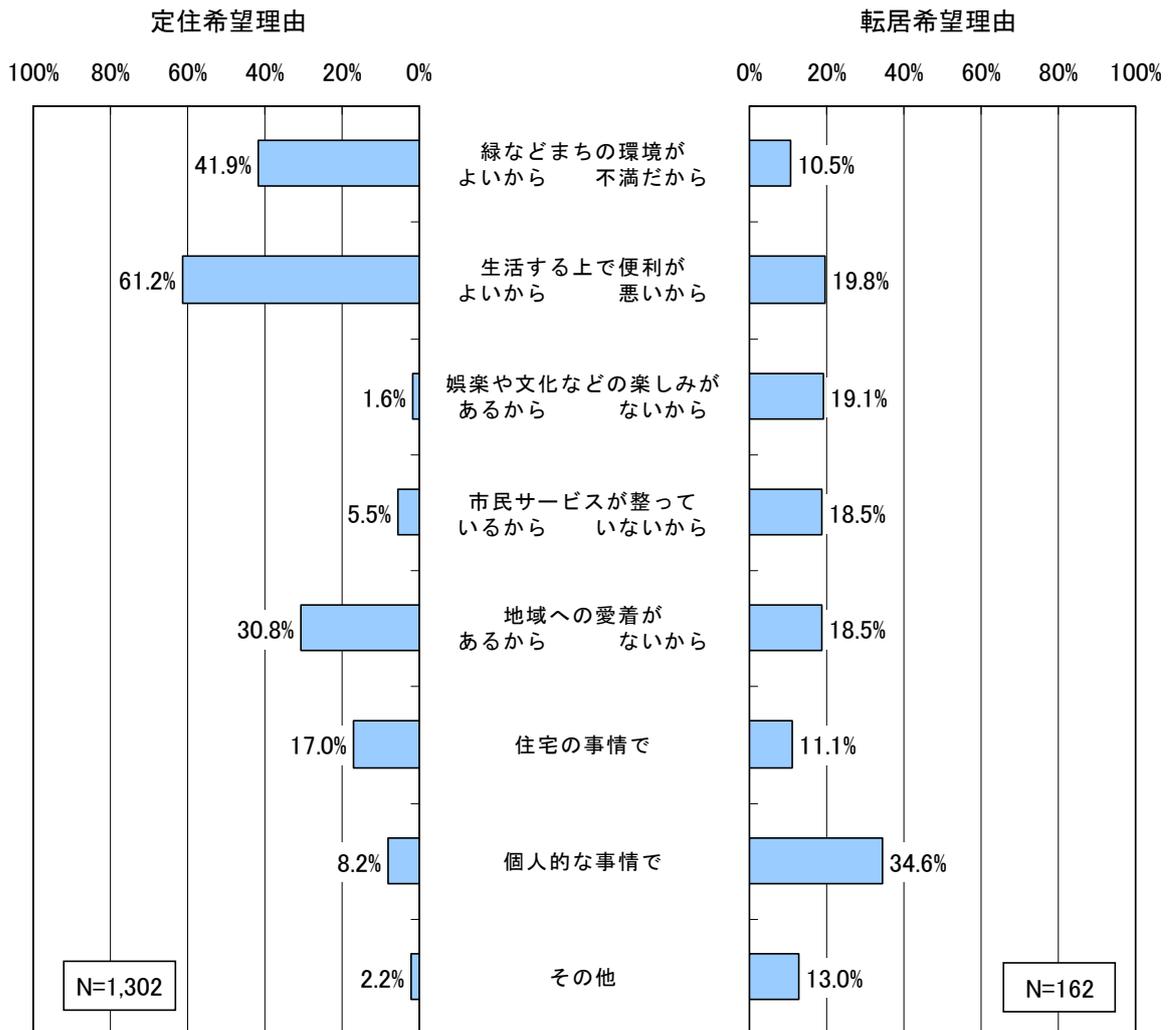
- 「ずっと住みたい」という回答者が 44.9%で最も多い。また、44.0%の回答者が「できれば住みたい」と回答しており、「ずっと住みたい」と合わせると、全体の約9割の回答者が定住を希望している。



(2) 定住希望理由・転居希望理由

- 定住希望者に対してその理由をたずねたところ、「生活する上で便利が良いから」が 61.2%と最も多く、「緑などまちの環境が良いから」(41.9%)、「地域への愛着があるから」(30.8%)が続いている。
- 転居希望者に対してその理由をたずねたところ、「個人的な事情で」が 34.6%と最も多く、それ以外の理由については大きな差異は認められない。

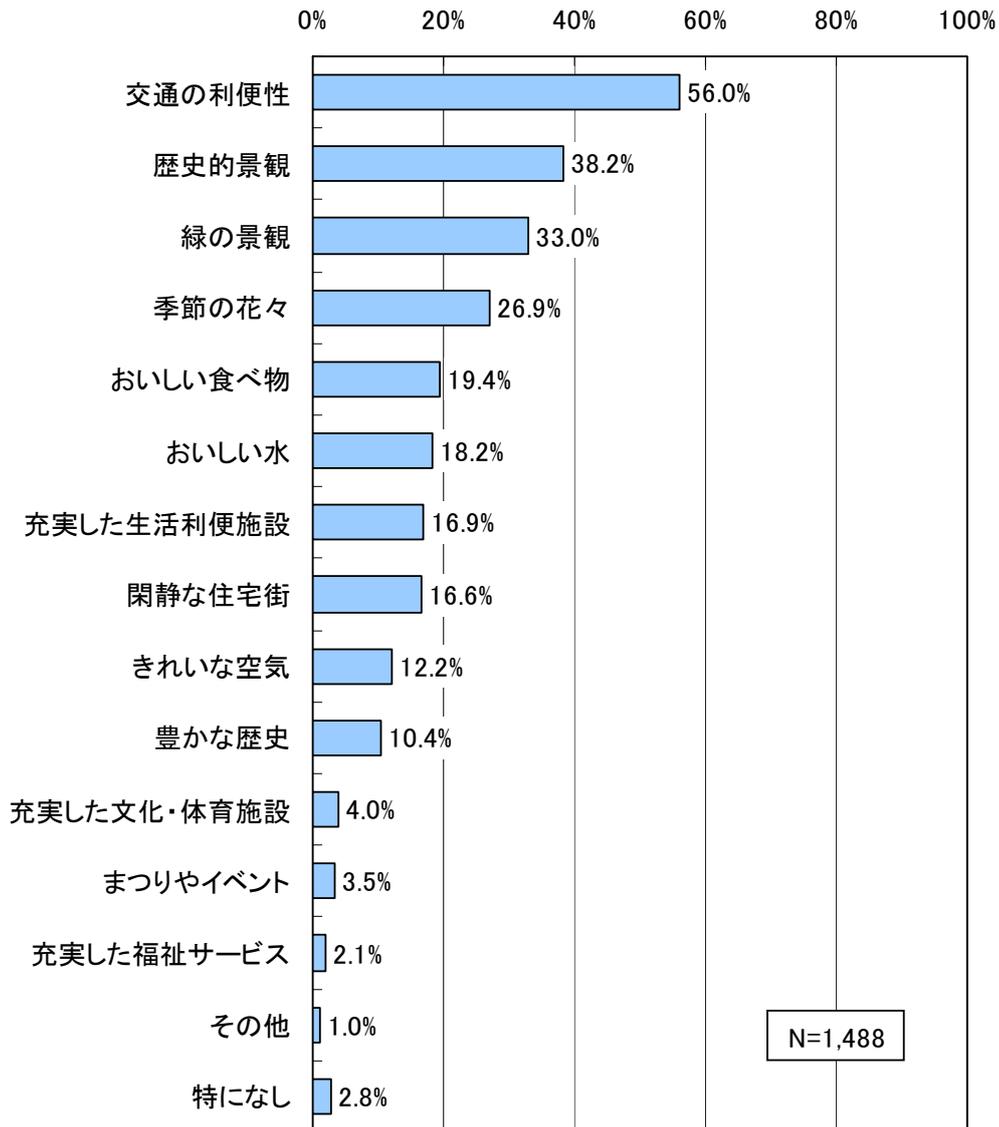
図表 II-8 定住希望理由・転居希望理由[複数回答]



(3) 長岡京市で自慢できるもの・誇りに思うもの

- ・ 長岡京市で自慢できるものとして最も回答の多かったものは、「交通の利便性」(56.0%)であった。
- ・ 次いで「歴史的景観」(38.2%)、「緑の景観」(33.0%)、「季節の花々」(26.9%)となっており、長岡京市の景観や自然環境に対する回答が上位を占めている。

図表 II-9 長岡京市で自慢できるもの・誇りに思うもの〔複数回答〕



3.政策の重要度、満足度について

(1) 政策の重要度について

■各政策の重要度

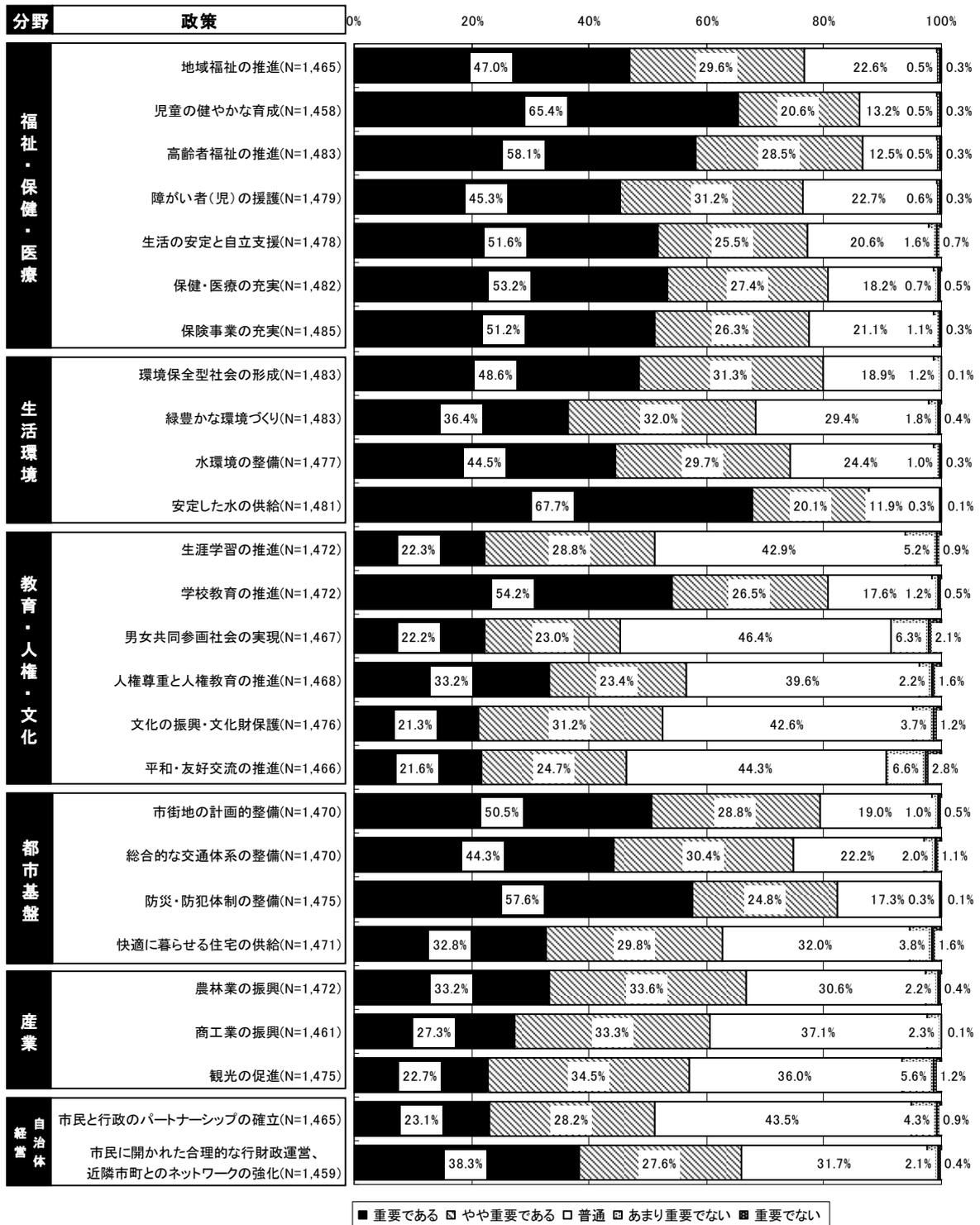
- ・市の各政策の重要度について「重要である」「やや重要である」との回答が多く見られたのは、「安定した水の供給」(87.8%)、「高齢者福祉の推進」(86.6%)、「児童の健やかな育成」(86.0%)である。
- ・「重要でない」「あまり重要でない」との回答が多く見られたのは、「平和・友好交流の推進」(9.4%)、「男女共同参画社会の実現」(8.5%)である。

図表 II-10 各政策の重要度

分野	政策	重要である やや重要である		重要でない あまり重要でない	
		順位	選択率(%)	順位	選択率(%)
福祉・保健・医療	1 地域福祉の推進	11	76.7%	24	0.8%
	2 児童の健やかな育成	3	86.0%	22	0.8%
	3 高齢者福祉の推進	2	86.6%	23	0.8%
	4 障がい者(児)の援護	12	76.5%	21	0.9%
	5 生活の安定と自立支援	10	77.1%	13	2.2%
	6 保健・医療の充実	6	80.6%	20	1.2%
	7 保険事業の充実	9	77.4%	17	1.4%
生活環境	8 環境保全型社会の形成	7	79.8%	19	1.3%
	9 緑豊かな環境づくり	15	68.4%	14	2.2%
	10 水環境の整備	14	74.3%	18	1.4%
	11 安定した水の供給	1	87.8%	26	0.3%
教育・人権・文化	12 生涯学習の推進	24	51.1%	4	6.0%
	13 学校教育の推進	5	80.7%	15	1.7%
	14 男女共同参画社会の実現	26	45.2%	2	8.5%
	15 人権尊重と人権教育の推進	21	56.5%	8	3.9%
	16 文化の振興・文化財保護	22	52.5%	7	4.9%
	17 平和・友好交流の推進	25	46.3%	1	9.4%
都市基盤	18 市街地の計画的整備	8	79.4%	16	1.6%
	19 総合的な交通体系の整備	13	74.7%	9	3.1%
	20 防災・防犯体制の整備	4	82.4%	25	0.3%
	21 快適に暮らせる住宅の供給	18	62.7%	5	5.4%
産業	22 農林業の振興	16	66.8%	10	2.6%
	23 商工業の振興	19	60.6%	12	2.3%
	24 観光の促進	20	57.2%	3	6.8%
経営 自治体	25 市民と行政のパートナーシップの確立	23	51.3%	6	5.2%
	26 市民に開かれた合理的な行財政運営、 近隣市町とのネットワークの強化	17	65.9%	11	2.5%

(注)「重要である」と「やや重要である」、「重要でない」と「あまり重要でない」をそれぞれ足し合わせ、数値の大きいものから順に5つ網掛けをした。

図表 II-11 各政策の重要度(選択肢構成比)



■特に重要と思う政策

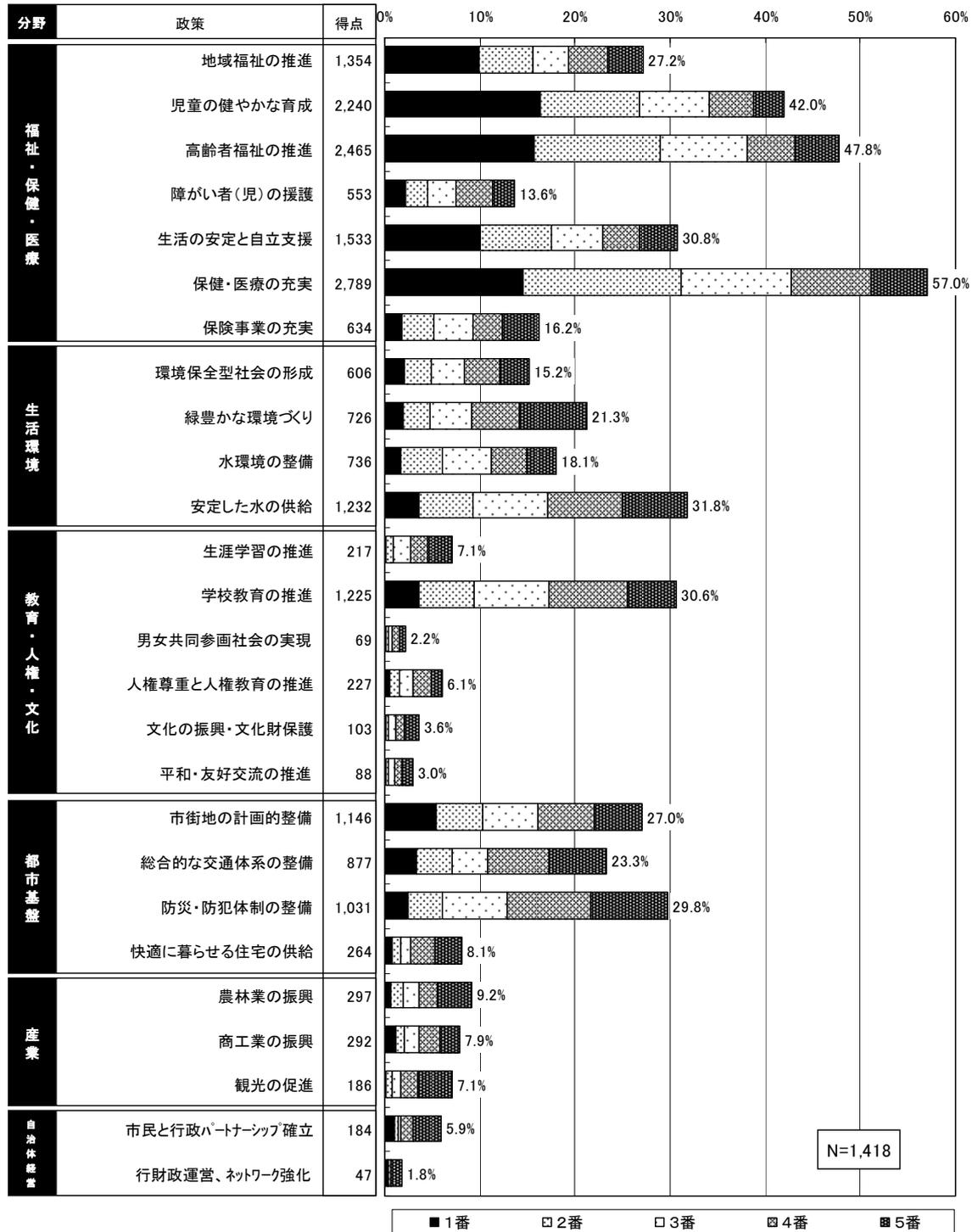
・ 特に重要な政策として選択率が最も高かったもの(1～5番のいずれかに選択されたもの)は「保健・医療の充実」(57.0%)であり、「高齢者福祉の推進」(47.8%)、「児童の健やかな育成」(42.0%)と続いている。

図表 II-12 特に重要と思う政策[複数回答]

分野	政策	特に重要と思う政策	
		順位	選択率(%)
福祉・保健・医療	1 地域福祉の推進	8	27.2%
	2 児童の健やかな育成	3	42.0%
	3 高齢者福祉の推進	2	47.8%
	4 障がい者(児)の援護	15	13.6%
	5 生活の安定と自立支援	5	30.8%
	6 保健・医療の充実	1	57.0%
	7 保険事業の充実	13	16.2%
生活環境	8 環境保全型社会の形成	14	15.2%
	9 緑豊かな環境づくり	11	21.3%
	10 水環境の整備	12	18.1%
	11 安定した水の供給	4	31.8%
教育・人権・文化	12 生涯学習の推進	20	7.1%
	13 学校教育の推進	6	30.6%
	14 男女共同参画社会の実現	25	2.2%
	15 人権尊重と人権教育の推進	21	6.1%
	16 文化の振興・文化財保護	23	3.6%
	17 平和・友好交流の推進	24	3.0%
都市基盤	18 市街地の計画的整備	9	27.0%
	19 総合的な交通体系の整備	10	23.3%
	20 防災・防犯体制の整備	7	29.8%
	21 快適に暮らせる住宅の供給	17	8.1%
産業	22 農林業の振興	16	9.2%
	23 商工業の振興	18	7.9%
	24 観光の促進	19	7.1%
経営自治体	25 市民と行政のパートナーシップの確立	22	5.9%
	26 市民に開かれた合理的な行財政運営、近隣市町とのネットワークの強化	26	1.8%

(注)選択率の大きいものから順に5つ網掛けをした。

図表 II-13 特に重要と思う政策[複数回答](構成比)



(注1)図表中の「得点」は、「1番」を5点、「2番」を4点、「3番」を3点、「4番」を2点、「5番」を1点として集計したもの。

(注2)図表中、各棒グラフの右横の数値は、合計割合を示す。

(注3)「回答者数(N)」は、調査票の1～5番にひとつでも記入のあった回答者とした。

(2) 政策の満足度について

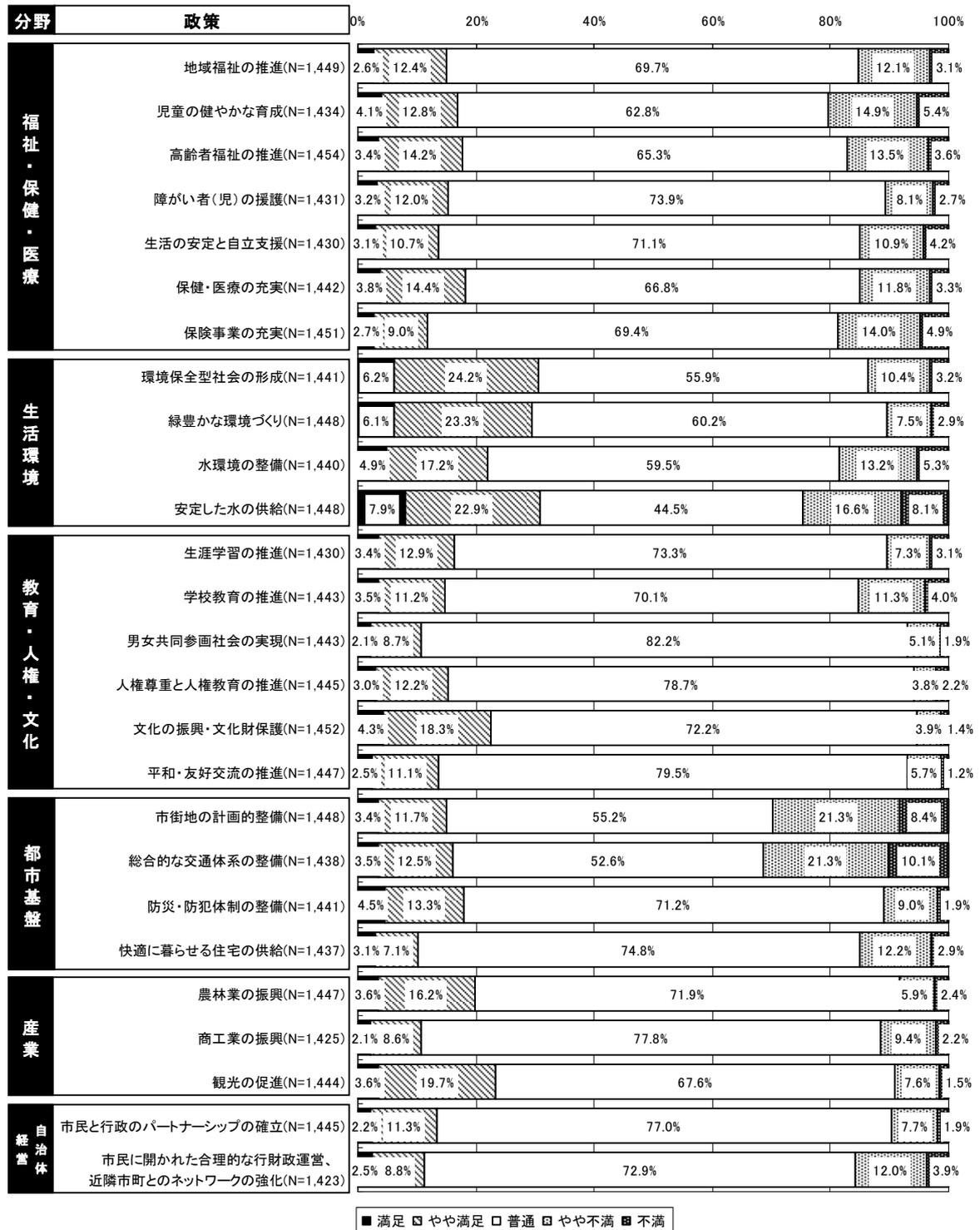
- ・ 市の各政策の満足度について「満足」「やや満足」との回答が多く見られたのは、「安定した水の供給」(30.8%)、「環境保全型社会の形成」(30.5%)、「緑豊かな環境づくり」(29.4%)である。
- ・ 「不満」「やや不満」との回答が多く見られたのは、「総合的な交通体系の整備」(31.4%)、「市街地の計画的整備」(29.7%)である。

図表 II-14 各政策の満足度

分野	政策	満足 やや満足		不満 やや不満	
		順位	選択率(%)	順位	選択率(%)
福祉・保健・医療	1 地域福祉の推進	17	15.0%	9	15.3%
	2 児童の健やかな育成	11	16.9%	4	20.3%
	3 高齢者福祉の推進	10	17.6%	7	17.1%
	4 障がい者(児)の援護	15	15.2%	17	10.8%
	5 生活の安定と自立支援	19	13.8%	11	15.1%
	6 保健・医療の充実	8	18.2%	12	15.0%
	7 保険事業の充実	22	11.7%	5	18.9%
生活環境	8 環境保全型社会の形成	2	30.5%	14	13.6%
	9 緑豊かな環境づくり	3	29.4%	18	10.4%
	10 水環境の整備	6	22.0%	6	18.5%
	11 安定した水の供給	1	30.8%	3	24.7%
教育・人権・文化	12 生涯学習の推進	12	16.3%	19	10.4%
	13 学校教育の推進	18	14.7%	10	15.2%
	14 男女共同参画社会の実現	24	10.8%	23	7.0%
	15 人権尊重と人権教育の推進	14	15.3%	25	6.0%
	16 文化の振興・文化財保護	5	22.6%	26	5.2%
	17 平和・友好交流の推進	20	13.6%	24	6.9%
都市基盤	18 市街地の計画的整備	16	15.1%	2	29.7%
	19 総合的な交通体系の整備	13	16.0%	1	31.4%
	20 防災・防犯体制の整備	9	17.8%	16	11.0%
	21 快適に暮らせる住宅の供給	26	10.2%	13	15.0%
産業	22 農林業の振興	7	19.8%	22	8.4%
	23 商工業の振興	25	10.7%	15	11.6%
	24 観光の促進	4	23.3%	21	9.1%
経営体	25 市民と行政のパートナーシップの確立	21	13.5%	20	9.6%
	26 市民に開かれた合理的な行財政運営、近隣市町とのネットワークの強化	23	11.2%	8	15.9%

(注) 「満足」と「やや満足」、「不満」と「やや不満」をそれぞれ足し合わせ、数値の大きいものから順に5つ網掛けをした。

図表 II-15 各政策の満足度(選択肢構成比)



(3) 特に重要と思う取組みについて

① 「福祉・保健・医療」分野

- ・ 各政策について特に重要と思う取組みをたずねたところ、「地域福祉の推進」においては、「福祉に係る相談や、福祉サービスを受けられる環境を整備すること」との回答が最も多かった。
- ・ 「児童の健やかな育成」においては、「多様なニーズに対応できる保育サービスを提供すること」との回答が最も多かった。

図表 II-16 特に重要と思う取組み(「福祉・保健・医療」分野)

政策	特に重要と思う取組み	選択率
1 地域福祉の推進	福祉に係る相談や、福祉サービスを受けられる環境を整備すること	50.7%
	地域において柔軟な福祉サービスを提供すること	35.1%
	生活課題を抱える市民を支援するボランティアや民間社会福祉団体を育成すること	14.2%
2 児童の健やかな育成	多様なニーズに対応できる保育サービスを提供すること(駅前保育所、民間保育所の支援など)	49.1%
	子育て家庭の経済的負担を軽減すること(乳児保育委託助成など)	38.1%
	子育て支援センターの運営など、子育て情報の提供を図ること	12.8%
3 高齢者福祉の推進	高齢者が地域で生活を継続できるよう、援助体制の充実を図ること	28.8%
	高齢者の健康づくりや生きがいづくりの活動を充実させること	28.1%
	高齢者に対して経済的に支援すること(老人医療助成、就業機会の確保など)	23.9%
	老人福祉施設の整備を促進すること	19.2%
4 障がい者(児)の援護	障がい者の就労などを支援すること(就業機会の確保など)	38.1%
	障がい者に対する援助体制の充実を図ること(施設運営費の補助、施設の整備など)	24.9%
	障がい者の生きがい活動の充実を図ること	21.4%
	障がい者の経済的負担の軽減を図ること	15.7%
5 生活の安定と自立支援	障がい者や子育て家庭の医療費負担の軽減を図ること	41.2%
	生活保護の実施や生活保護世帯の自立支援を図ること	33.9%
	勤労者福祉の充実を図ること(ピロティおとくに等の支援など)	24.8%
6 保健・医療の充実	医療の充実を図ること(休日・夜間の医療体制の維持など)	58.2%
	高齢者が寝たきりになることの予防を図ること	19.0%
	保健予防施策の充実を図ること(生活習慣病予防教育など)	12.3%
	健康づくりに関する啓発や情報提供に取り組むこと	10.5%
7 保険事業の充実	国民健康保険事業の健全な運営を図ること	36.8%
	介護保険事業の健全な運営を図ること	32.7%
	国民年金制度への市民の理解を深め、制度の維持を図ること	30.5%

(注)選択率の最も大きいものに網掛けをした。

② 「生活環境」分野

- 各政策について特に重要と思う取組みをたずねたところ、「水環境の整備」においては、「下水道事業経営の健全化を図ること」との回答が最も多かった。
- 「安定した水の供給」においては、「安全で良質な水の確保に努めること」との回答が最も多かった。

図表 II-17 特に重要と思う取組み(「生活環境」分野)

政策	特に重要と思う取組み	選択率
8 環境保全型社会の形成	市民の環境美化に対する意識を高め、ごみや不法投棄のない清潔で快適な環境づくりを推進すること	49.9%
	地球環境の保全に向けた取組みを推進すること(温暖化防止の取組みなど)	21.7%
	循環型の社会づくりを推進すること(リサイクルの推進など)	21.5%
	ごみ・し尿を適切に処理すること	6.9%
9 緑豊かな環境づくり	自然環境の保全を図ること	43.5%
	公園や緑地を整備すること	36.6%
	市民の環境保全意識の向上を図ること	20.0%
10 水環境の整備	下水道事業経営の健全化を図ること(下水道使用料の適正化など)	38.3%
	河川沿いでの美しい水辺環境を創り出すこと	25.7%
	河川や水路の改良や維持管理により浸水被害を防ぐこと	23.4%
	下水道施設の整備や維持管理に努めること	12.6%
11 安定した水の供給	安全で良質な水の確保に努めること	65.8%
	水道経営の健全化を図ること	22.2%
	安定的な水の供給を図ること	12.1%

(注)選択率の最も大きいものに網掛けをした。

③ 「教育・人権・文化」分野

- 各政策について特に重要と思う取組みをたずねたところ、「学校教育の推進」においては、「教職員の資質・指導力の維持・向上を図ること」との回答が最も多かった。

図表 II-18 特に重要と思う取組み(「教育・人権・文化」分野)

政策	特に重要と思う取組み	選択率
12 生涯学習の推進	生涯学習に関する情報を提供すること	29.4%
	スポーツ施設の整備や設備の充実を図ること	24.0%
	図書館の充実を図ること	20.0%
	青少年活動を充実させること(指導者の育成など)	18.4%
	公民館の充実を図ること	8.2%
13 学校教育の推進	教職員の資質・指導力の維持・向上を図ること	47.5%
	心の教育や健康安全教育の充実を図ること	28.4%
	地域住民に開かれた学校づくりを推進すること	13.6%
	学校施設を維持管理すること(校舎の耐震改修など)	10.4%
14 男女共同参画社会の実現	男女共同参画社会の実現に向けた啓発	62.3%
	女性のための相談体制の充実を図ること	37.7%
15 人権尊重と人権教育の推進	人権教育を推進すること	58.4%
	文化教養教室を開催し、差別意識の解消を図ること	41.6%
16 文化の振興・文化財保護	文化財や伝統文化の保存・活用・継承を図る機能や施設を整備すること	56.1%
	市民の自主的な文化・芸術活動を支援すること	43.9%
17 平和・友好交流の推進	市民の平和意識を喚起すること	67.8%
	友好・姉妹都市との交流を図ること	32.2%

(注)選択率の最も大きいものに網掛けをした。

④ 「都市基盤」分野

- 各政策について特に重要と思う取組みをたずねたところ、「市街地の計画的整備」においては、「阪急長岡天神駅周辺の整備を推進すること」との回答が最も多かった。
- 「総合的な交通体系の整備」においては、「生活道路の整備を図ること」との回答が最も多かった。

図表 II-19 特に重要と思う取組み(「都市基盤」分野)

政策	特に重要と思う取組み	選択率
18 市街地の計画的整備	阪急長岡天神駅周辺の整備を推進すること	54.0%
	長岡京らしい良好な景観の形成を図ること	28.4%
	地域住民主体のまちづくりを推進すること(まちづくり協議会への支援など)	17.5%
19 総合的な交通体系の整備	生活道路の整備を図ること	42.2%
	公共交通の充実を図ること(低床式バスの増加、はっぴいバスの運行など)	15.5%
	阪急新駅周辺の整備を図ること	14.5%
	幹線道路の整備を図ること	10.9%
	市民の交通安全に対する意識の啓発を図ること	9.8%
	放置自転車への対策を図ること	7.1%
20 防災・防犯体制の整備	防犯意識の啓発や自主防犯活動を支援すること(地域の自主防犯活動への支援など)	49.6%
	消防・防災体制の強化を図ること(防災訓練の実施など)	33.5%
	自主防災活動の活性化を図ること(自主防災組織の育成)	16.9%
21 快適に暮らせる住宅の供給	一般住宅への耐震化支援事業を推進すること	55.7%
	民間賃貸住宅の活用などを含めて、新たな公的関与の住宅を確保すること	22.7%
	実効性のある市営住宅ストック総合活用計画のもとで、市営住宅の適正な維持、管理をおこなうこと	21.5%

(注)選択率の最も大きいものに網掛けをした。

⑤ 「産業」分野

- 各政策について特に重要な取組みをたずねたところ、「商工業の振興」においては、「商店街等の活性化を支援すること」との回答が最も多かった。

図表 II-20 特に重要と思う取組み(「産業」分野)

政策	特に重要と思う取組み	選択率
22 農林業の振興	森林や里山の保全に努めること	35.2%
	農業者と市民との交流を図ること(地産地消の推進など)	25.9%
	特産物の育成を図ること(たけのこ・なす・花菜など)	19.5%
	農業生産基盤の充実を図ること	19.4%
23 商工業の振興	商店街等の活性化を支援すること	51.4%
	中小企業や個人事業者を支援すること(融資に対する利子補給など)	29.4%
	企業立地の促進を図ること	16.5%
	商工業団体に対して支援すること	2.7%
24 観光の促進	観光地周辺の環境を整備すること	56.5%
	観光案内の充実を図ること	21.4%
	観光イベント等を支援すること	18.3%
	観光関連団体に対して支援すること	3.8%

(注)選択率の最も大きいものに網掛けをした。

⑥ 「自治体経営」分野

- 各政策について特に重要な取組みをたずねたところ、「市民と行政のパートナーシップの確立」においては、「市民に対して積極的に情報を提供すること」との回答が最も多かった。
- 「市民に開かれた合理的な行財政運営、近隣市町とのネットワークの強化」においては、「行政職員の資質向上を図ること」との回答が最も多かった。

図表 II-21 特に重要と思う取組み(「自治体経営」分野)

政策	特に重要と思う取組み	選択率
25 市民と行政のパートナーシップの確立	市民に対して積極的に情報を提供すること(広報紙、ホームページ、議会だよりなど)	53.9%
	市政への市民参画を促進すること	23.9%
	コミュニティ活動の促進を図ること(自治会、NPOの支援など)	22.2%
26 市民に開かれた合理的な行財政運営、近隣市町とのネットワークの強化	行政職員の資質向上を図ること	33.5%
	行財政改革を推進すること	32.0%
	地域・市役所の情報化を推進すること	20.6%
	近隣市町とのネットワークの強化を図ること	13.9%

(注)選択率の最も大きいものに網掛けをした。

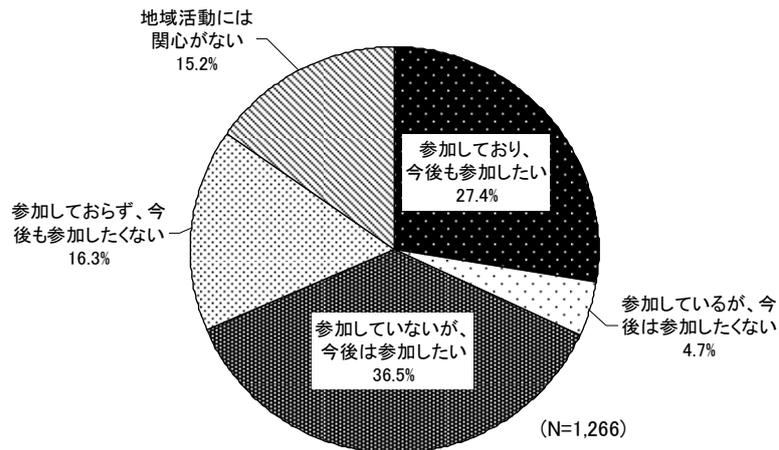
4. 個別の政策について

(1) 地域の活動や市政への参加

① 地域活動への参加意向

- ・ 地域活動への参加意向をたずねたところ、「参加していないが今後は参加したい」が36.5%で最も多く、「参加しており、今後も参加したい」との回答を合わせると、全体の約6割が地域活動への参加意向を持っている。

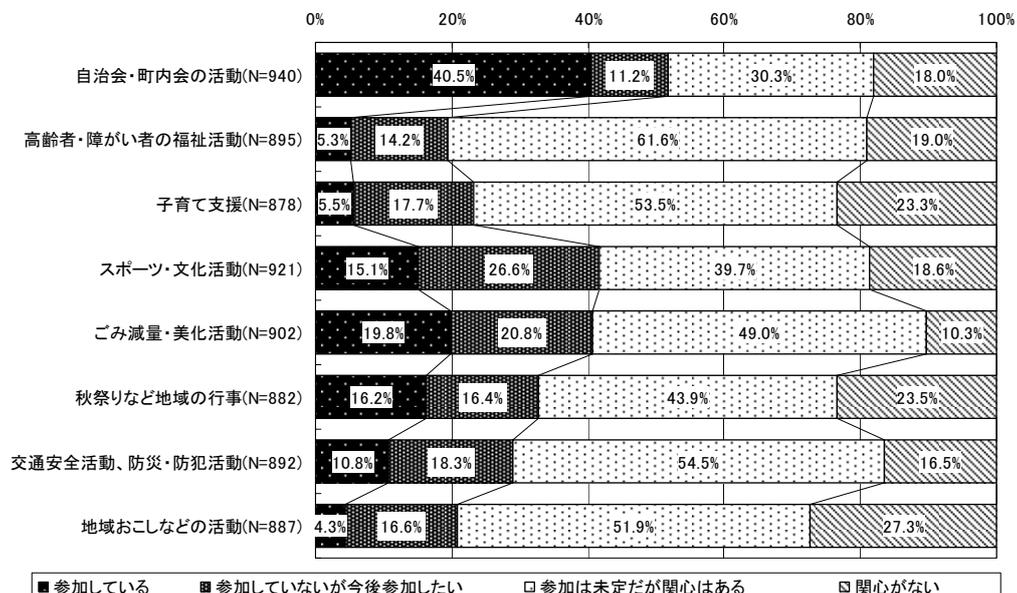
図表 II-22 地域活動への参加意向



② 活動の種類ごとの参加意向

- ・ 地域活動への参加意向を活動の種類ごとにたずねたところ、「参加している」と「参加していないが今後は参加したい」を合わせた参加意向が最も高かったのは「自治会・町内会の活動」(51.7%)であった。

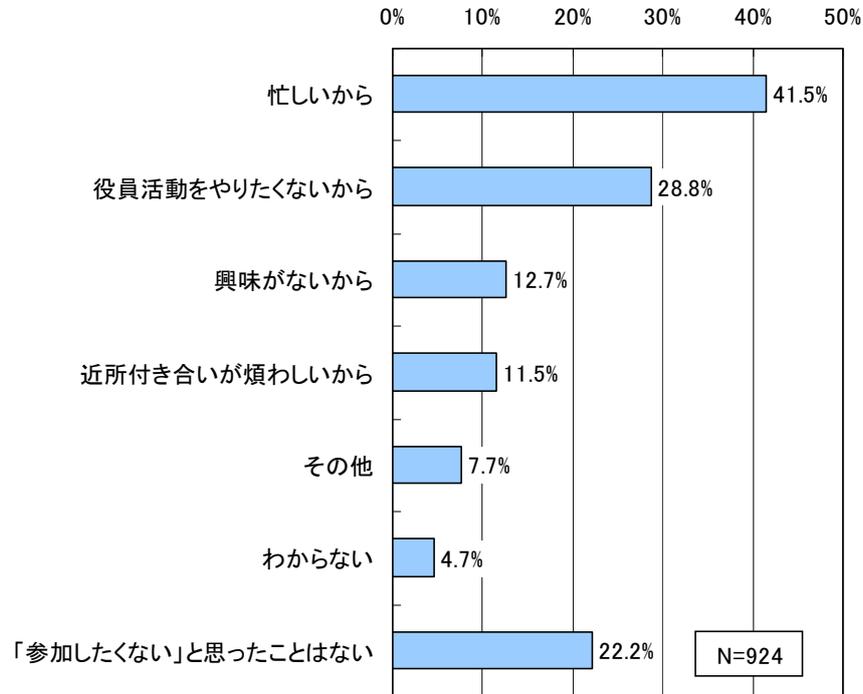
図表 II-23 活動の種類ごとの参加意向



③ 参加したくない理由

- ・ 地域活動に参加したくないと思った理由については、「忙しいから」(41.5%) が最も多くなっている。

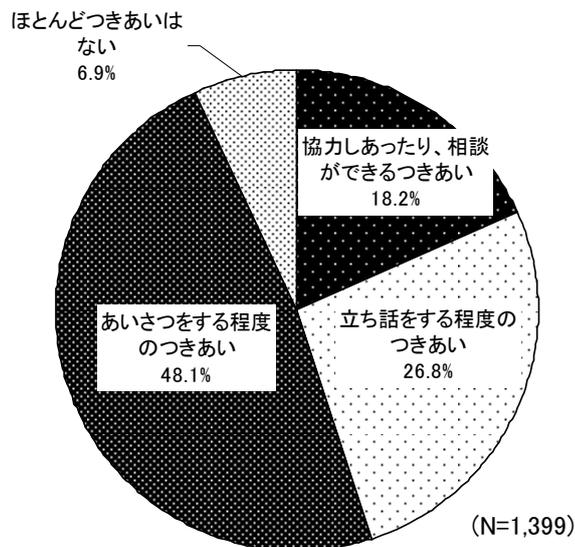
図表 II-24 参加したくない理由[複数回答]



④ 隣近所とのつきあい

- ・ 隣近所とのつきあいについては、「挨拶する程度のつきあい」(48.1%) が最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあい」(26.8%) となっている。

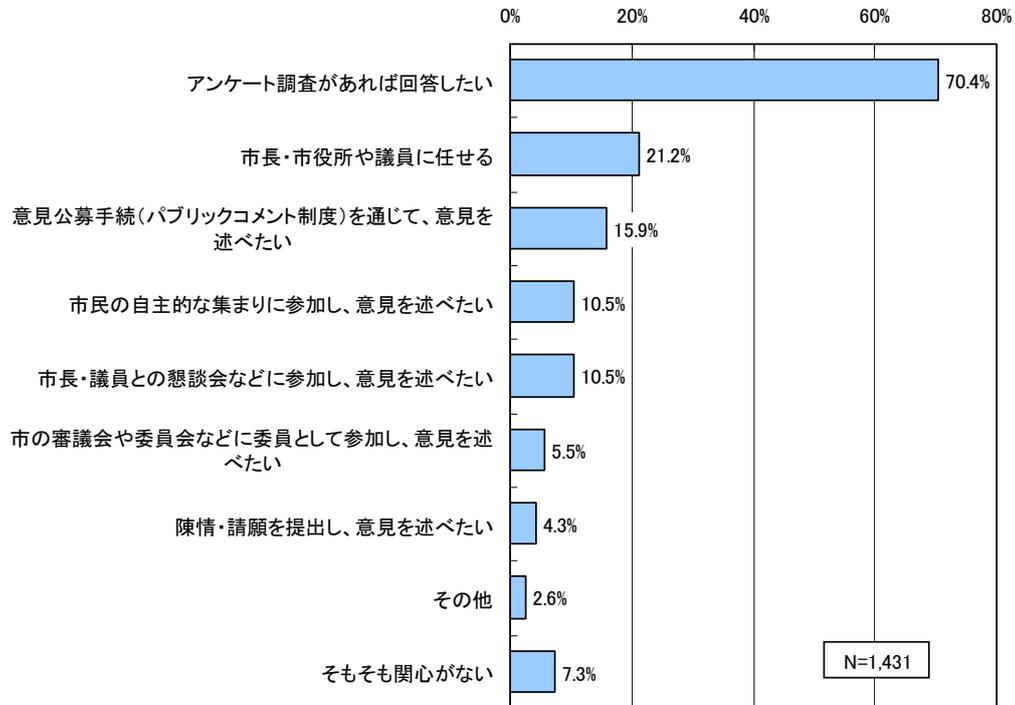
図表 II-25 隣近所とのつきあい



⑤ 市政への意見の反映方法

- ・ 市政に対し意見をどのように反映させたいかたずねたところ、「アンケート調査があれば回答したい」との回答が70.4%と最も多くなっている。

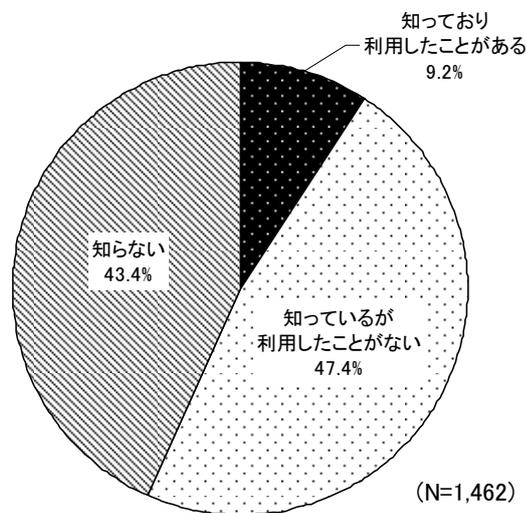
図表 II-26 市政への意見の反映方法



⑥ 市民活動サポートセンターの認知度

- ・ 市民活動サポートセンターについては、全体の半数以上が知っているが、利用したことがあるのは、全体の9.2%となっている。

図表 II-27 市民活動サポートセンターの認知度

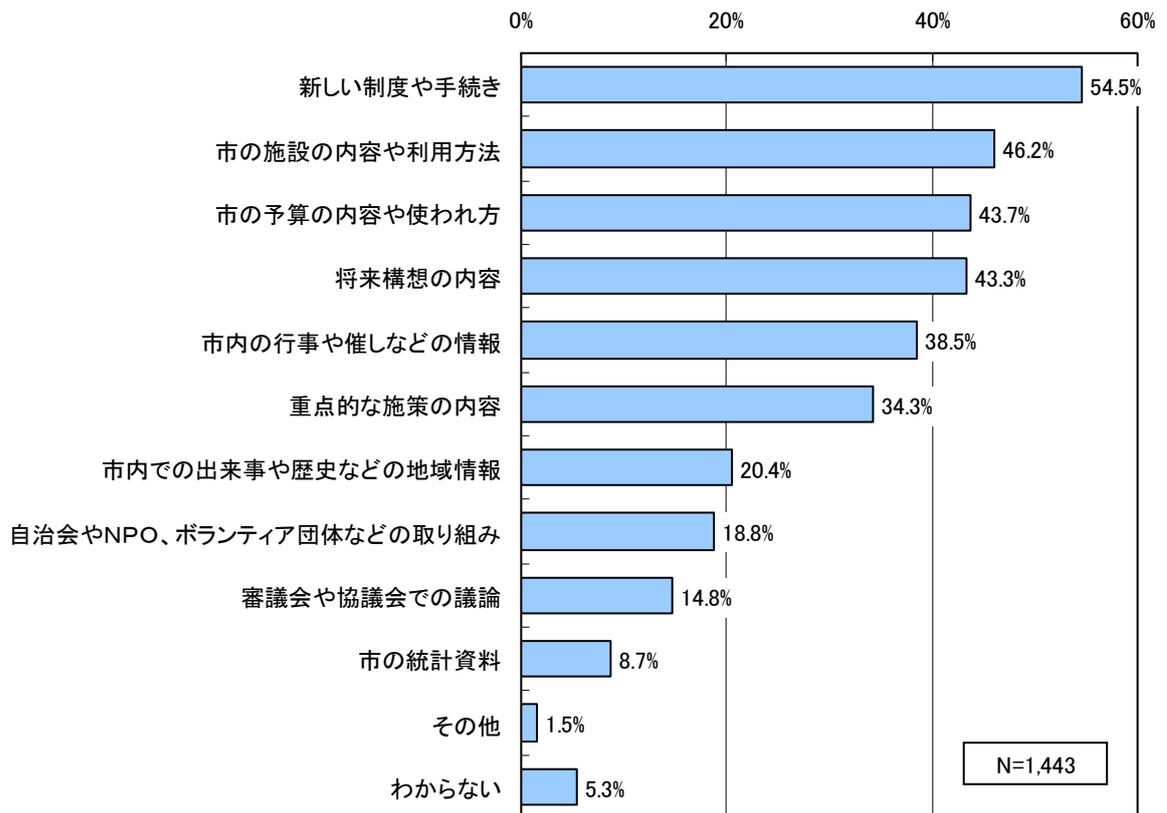


(2) 市政に関する情報

① 知りたい市政情報

- ・ 市政に関する情報のうち知りたい内容については、「新しい制度や手続き」(54.5%) が最も多く、「市の施設の内容や利用方法」(46.2%)、「市の予算の内容や使われ方」(43.7%)、「将来構想の内容」(43.3%) が続いている。

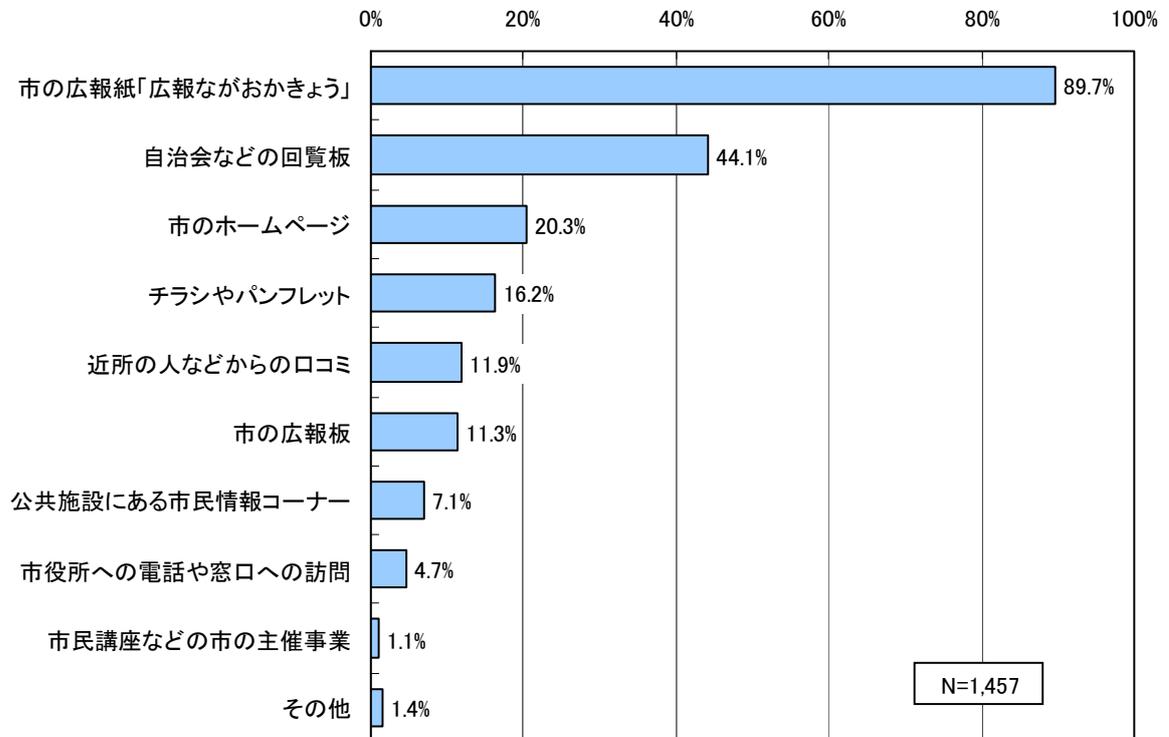
図表 II-28 知りたい市政情報[複数回答]



② 市政情報の入手方法

- ・ 市政情報の入手方法については、「市の広報紙」(89.7%)が最も多く、「自治会などの回覧板」(44.1%)が続いている。

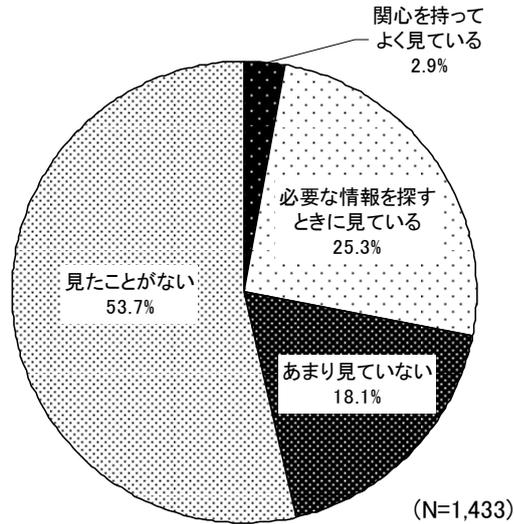
図表 II-29 市政情報の入手方法[複数回答]



③ 市ホームページの利用状況

- 市のホームページについては、「見たことがない」との回答が53.7%と最も多い。また、利用している人については、「必要な情報を探すときに見ている」(25.3%)との回答が多くなっている。

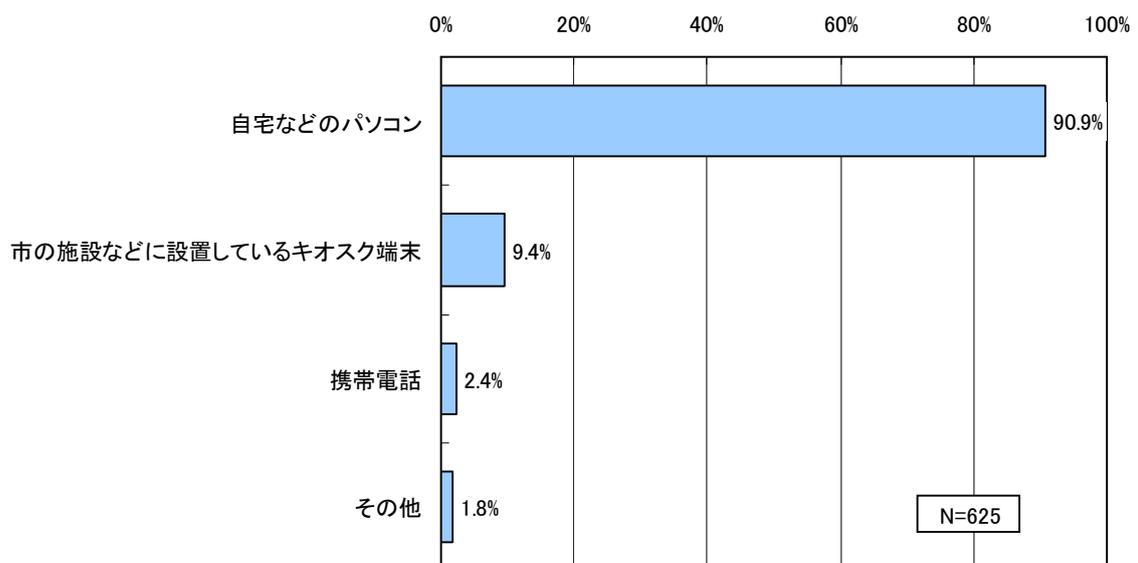
図表 II-30 市ホームページの利用状況



④ 市ホームページの利用方法

- 市のホームページの利用方法については、「自宅などのパソコン」(90.9%)が最も多い。

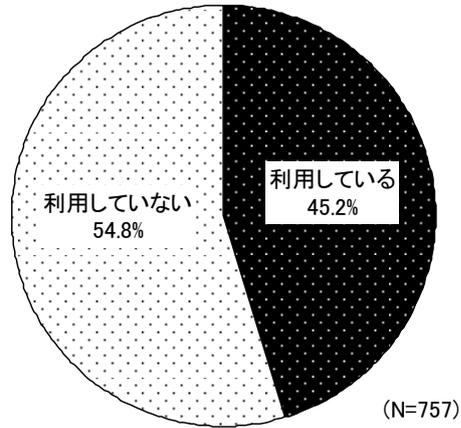
図表 II-31 市ホームページの利用方法[複数回答]



⑤ インターネットの利用状況

- ・ 市のホームページについて「見たことがない」と回答した方に、インターネットの利用状況をたずねたところ、「利用している」のは45.2%であった。

図表 II-32 市ホームページの利用方法[複数回答]

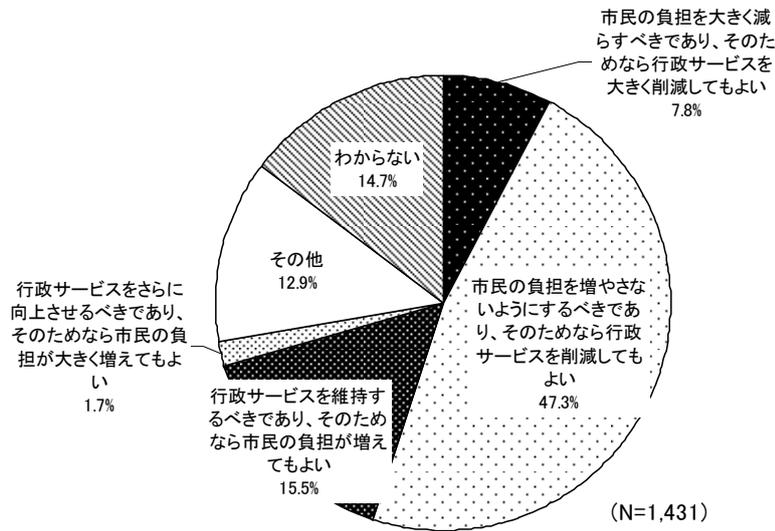


(3) 行財政改革

① 行政サービスと市民の負担

・ 行政サービスと市民の負担の関係について、どうすべきであるかたずねたところ、「市民の負担を増やさないようにするべきであり、そのためなら行政サービスを削減してもよい」との回答が47.3%で最も多かった。

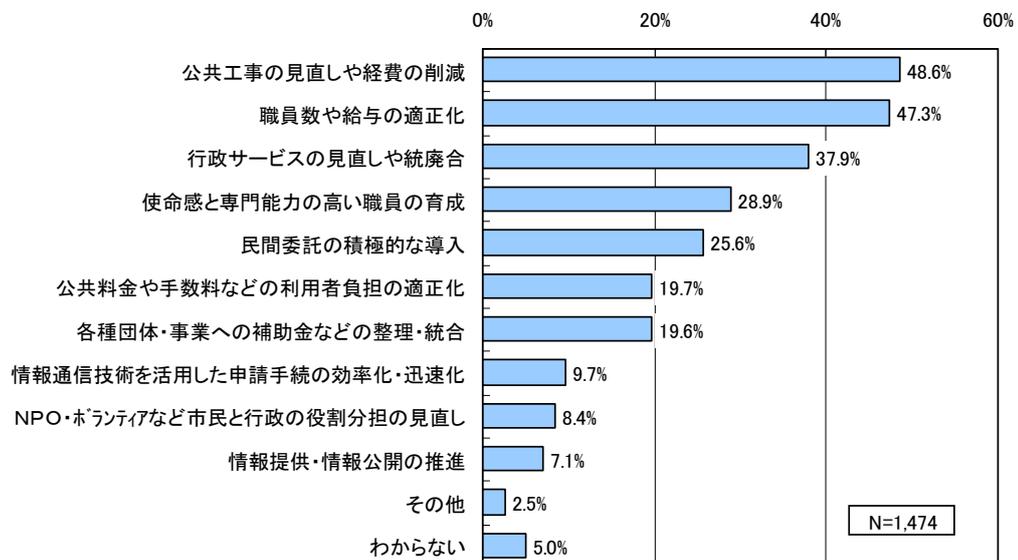
図表 II-33 行政サービスと市民の負担



② 優先すべき行財政改革

・ 優先して取り組むべき行財政改革についてたずねたところ、「公共工事の見直しや経費の削減」(48.6%)、「職員数や給与の適正化」(47.3%)との回答が多くみられた。

図表 II-34 行政サービスと市民の負担



(4) 長岡天神駅周辺のまちづくり

- 長岡天神駅周辺のまちづくりに関し、ハード面で重点を置くべきことについてたずねたところ、「時間と費用がかかっても、周辺道路を用地買収し、歩道等を整備する」(35.6%)との回答が最も多く、次いで「現在の道路幅員のままで、バスや自動車の一方通行化等により車道の幅を狭くして、歩道等を整備する」(22.6%)との回答が多かった。

図表 II-35 長岡天神駅周辺のまちづくり

